

ごあいさつ



三重パラ陸上競技協会会長 杉本ゆや

今、三重県は、三重とこわか国体・三重とこわか大会を契機に高まった競技力を一過性のものとせず、引き続き選手強化や指導者養成に取り組み、障がいの有無に関わらずスポーツを楽しむことで、障がいへの理解や障がい者の社会参加を促進し、障がい者スポーツの裾野の拡大を進めようとしています。

また、三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシーを生かして、多くのスポーツ大会を開催し、大会運営に関するノウハウの継承や地域経済の活性化につながるよう、大規模大会の誘致・開催などの取り組みを進めています。

そして、三重県においては、パラ陸上アスリートで北京及びロンドンパラリンピックのメダリスト伊藤智也選手やリオデジャネイロ及び東京パラリンピック日本代表の前川楓選手はじめ多くの三重県ゆかりの選手が、パラリンピックなどの国際大会や全国大会で活躍し、県民の皆様にも夢や感動を届けていただいています。

このような中、私共は、2022年12月26日、三重県の障がい者の陸上競技を統括し、陸上競技の普及並びに振興を図り、障がい者の社会参加を促進し、障がいの有無に関わらず誰もが暮らしやすい三重づくりをめざして、三重パラ陸上競技協会を設立いたしました。

当協会は、スポーツイベントの開催や大規模大会の誘致などを通して、競技力の向上やパラスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を一層拡大し、パラスポーツによる地域の活性化を、県民の皆様をはじめ企業や団体、行政とも連携し推進してまいります。

今後とも皆様からのご支援ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。